

平成27年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 50
ID 117003

【施設状況】

| | | | | | | | | | |
|--------|--|----------|---------|---------|----|------|---------------|----|---------|
| グループ名称 | 保育園（芋井、青池、清野、西条） | | | | | | | | |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人長野市社会事業協会 | | | | | 法人番号 | 5100005001689 | | |
| 所管課 | 主 | 117000 | 保育・幼稚園課 | 副 | | | | | |
| 構成施設 | 1506 | 芋井保育園 | | | | | | | |
| | 1517 | 青池保育園 | | | | | | | |
| | 1499 | 清野保育園 | | | | | | | |
| | 1508 | 西条保育園 | | | | | | | |
| 施設分類 | 05 | 保健福祉・医療型 | | 施設利用者圏域 | 01 | 地域施設 | 利用制適用区分 | 03 | 一部利用料金制 |
| 施設概要 | <ul style="list-style-type: none"> 芋井保育園：鉄骨平屋造 392.40㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 青池保育園：鉄骨平屋造 398.45㎡、定員20人、保育室2室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 清野保育園：鉄骨平屋造 493.02㎡、定員30人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 西条保育園：鉄骨平屋造 426.87㎡、定員40人、保育室3室、乳児室1室、調理室、遊戯室、事務室、園庭 | | | | | | | | |
| 施設設置目的 | 児童福祉法に基づき、保育を必要とする児童を保育するための認可保育所を設置する。 | | | | | | | | |
| 基本方針等 | 長野市保育所設置及び使用条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例、長野市特定児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例施行規則、長野市保育所管理規則に定める規定に従う。 | | | | | | | | |
| 主な実施事業 | <ul style="list-style-type: none"> 保育の実施 保育に関する相談、助言の実施 特別保育の実施 | | | | | | | | |

【項目評価基準表】

| 評価 | 評価基準 |
|--------------|---|
| 5 (優れている) | 協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい |
| 4 (良い) | 協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上 |
| 3 (普通) | 協定、計画が予定どおり実施された |
| 2 (劣る) | <ul style="list-style-type: none"> 協定、計画の一部が予定どおり実施されない 管理運営の一部において、市の指導が必要 |
| 1 (悪い) | <ul style="list-style-type: none"> 協定、計画が全て実施されない 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない |

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

| | | | | | | |
|-----------|---|---|------------|------|---------|-----------|
| 指定管理者名 | 社会福祉法人長野市社会事業協会 | | | 指定回数 | 4 回 | |
| 指定期間 | 平成23年4月1日 | ～ | 平成28年3月31日 | 5年 | 管理運営開始日 | 平成18年4月1日 |
| 指定管理者の健全性 | 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。 | | | | | 評価 |
| | 特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入) | 平成26年度において、定員の減少に伴い、国の定める運営費単価の増加及び実際の園児数の増加により指定管理料が前年度に比べ増加することになり、指定管理者においては18,335千円の利益が生じており、市の負担が増加している。 | | | | |

2 施設の有効活用

| 施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など) | 利用区分等 | 単位 | H24 | H25 | H26 | H27 | 対前年比 | 評価 |
|---------------------------------------|---|--|-----|-----|--------------------|-----|------|----|
| | 芋井保育園 在園児数 | 人 | 18 | 20 | 18 | 18 | 100% | |
| | 青池保育園 在園児数 | 人 | 22 | 11 | 16 | 16 | 100% | |
| | 清野保育園 在園児数 | 人 | 23 | 33 | 31 | 33 | 106% | |
| | 西条保育園 在園児数 | 人 | 38 | 38 | 40 | 41 | 103% | |
| | 計 | | 101 | 102 | 105 | 108 | 103% | |
| (特記事項) 在園児数は、毎年度3月1日現在の人数(管外受託者含む) | | | | | | | | |
| 事業実施内容 | 区分 | 協定内容・指定管理者提案 | | | 追加事業、未実施事業及び未実施の理由 | | | |
| | 市指定事業 | ・保育の実施 ・保育に関する相談、助言の実施 ・特別保育の実施 ・通園バスの運行(芋井保育園) | | | | | | |
| | 自主事業 | なし | | | | | | |
| サービス維持・向上の取組み(広報等) | ・園開放や園行事について、子育て情報誌への情報提供と掲載 ・一時預かりの実施 ・チラシの配布 ・世代間交流の実施 | | | | | | | |

4

3 利用者評価

| 区分 | 内容 | 評価 |
|--------------|---|----|
| 利用者要望把握 | (1) 利用者要望把握方法 (2) 調査、会議等の内容 ≪青池≫ 行事等に関するアンケートを実施した。 ・玄関に意見箱を設置して、保護者の意見を求めた。 ≪西条≫ 個別懇談会を実施した。 ・送迎時などに聞き取りを行った。 ・園児全員に連絡ノートを配布した。 ≪清野≫ 行事等のアンケートを実施した。 ・個別懇談会、保育参観や日々の送迎時に口頭で話を聞いた。 ≪芋井≫ 個別懇談会で要望・意見を聞いた。 ・行事等に関するアンケートを実施した。 | 4 |
| | (3) 調査、会議等の結果 ≪青池≫ アンケート回収率80%。 ・意見箱への意見書等の投函はなかった。 ≪西条≫ 個別懇談会は全員実施した(年長時は年2回実施)。 ・連絡ノートを使い、行事の感想や育児相談などを実施した。 ≪清野≫ アンケートは45%の回収率であった。 ・個別懇談会、保育参観は全員参加であった。 ≪芋井≫ アンケート回収率100%。 | |
| 利用者評価 | (1) 良好とする評価 ≪青池≫ 園庭に水が流れ込み小石が露出したが、砂を入れ、砂地にしたことにより安心して遊ぶことができることになり、保護者から喜ぶ声が聞かれた。 ・保護者と園が連携できて良好な運営ができた。 ≪西条≫ 朝の受け入れを玄関でしてもらえるので、忙しいときに助かる。 ・保育者が笑顔で対応していて気持ちが良い。 ・土曜日でも延長保育があり助かる。(11時間開所) ・育児相談など、突然でも対応してもらえた。 ≪清野≫ 毎日楽しく通っている。成長に寄り添ってもらっている。一日あったことを話してもらえて嬉しい。細やかな指導や 良く見てもらえてありがたい。等の意見をいただいた。 ≪芋井≫ 運動会に関して、地域の運動会に参加していたが、保育園独自でも運動会が出来て良かった。 ・流行している感染症の情報が掲示され、良かった。 | 4 |
| 利用者からの評価・苦情等 | (2) 苦情・改善等の要望事項 ≪青池≫ 苦情はでなかった。 ・保護者会と相談して遠足の場所を決めたが、子供達が楽しめる場所になってよかったという声がかかれた。 ≪西条≫ ①保育士に叩かれたと子どもからの訴えがあったが事実なのかと保護者より苦情あり。 ②年少の子どもに対し、年上の子どもが暴力を振るったり、嫌な言葉がけをされたと保護者より苦情あり。 ③感染症が流行ったときは、玄関への掲示だけでなく手紙などで知らせしてほしい。 ≪清野≫ ・トイレについて、市の方に声をかけてくださっているのは知っていますが、早く「ポットン」から卒業したいです。 ・トイレの水洗化の要望 ≪芋井≫ ・たのしみ会の保護者の出し物に衣装を作り発表したい。 ≪対応措置≫ ≪西条≫ ①、② それぞれ保護者・保育士・主任・園長を交え、状況の確認、他の園児からの聞き取りなどを行い解決に努めた。誤解などもあり、保護者に納得して頂けるよう誠意を持って対応し、園内研修で、人権擁護の学習会を開いた。 ③祖父母の送迎などで、保護者が直接掲示板を見ることが出来ない家庭や、希望する家庭には通知文を出し周知した。 ≪清野≫ ・30年度耐震工事予定をお知らせしました。 ≪芋井≫ ・働いている保護者さんがそこまでののは負担になるのではないかと、歌等で十分子ども達は喜ぶと思うことを伝え理解を得る。 ・親子遠足について、芋井保育園は平日の行事も多く、働いている保護者様にこれ以上休みを増やすのは負担になる | |

4 事業収支

| 事業収支 (単位：円) | 指定管理者収支（平成27年度） | | | | 市の収支 | | | | 評価 |
|---|-----------------|-------------|--------|-------------|----------|--------------|---------------|--------------|-------------|
| | 年度計画額 | | 収支実績額 | | 平成27年度決算 | | 平成26年度決算（前年度） | | |
| | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | |
| 収入 | 利用料金 | 386,000 | 利用料金 | 1,091,100 | 歳入 | 使用料 | | 使用料 | |
| | 指定管理料 | 124,519,000 | 指定管理料 | 152,711,335 | | 雑（納付金） | | 雑（納付金） | |
| 支出 | 委託料 | | 委託料 | | 歳出 | 行政財産目的外使用料 | | 行政財産目的外使用料 | |
| | 販売収入等 | | 販売収入等 | | | その他 | | その他 | |
| | その他収入 | 2,694,000 | その他収入 | 6,316,595 | 保育料 | 20,473,250 | 保育料 | 21,667,470 | |
| | 計 | 127,599,000 | 計 | 160,119,030 | 計 | 20,473,250 | 計 | 21,667,470 | |
| 自主事業 | 人件費 | 101,182,000 | 人件費 | 100,249,636 | 自主事業 | 指定管理料 | 152,711,335 | 指定管理料 | 134,286,462 |
| | 設備管理費 | 1,760,000 | 設備管理費 | 1,271,715 | | 委託料 | | 委託料 | |
| 損益 | 備品購入費 | 1,635,000 | 備品購入費 | 2,056,951 | 差引 | 需用費 | | 需用費 | |
| | 修繕費 | 1,600,000 | 修繕費 | 1,068,298 | | 役務費 | | 役務費 | |
| | 光熱水費 | 4,336,000 | 光熱水費 | 3,674,998 | 使用料・賃借料 | | 使用料・賃借料 | | |
| | 事業費 | 8,838,000 | 事業費 | 8,286,044 | 修繕費 | | 修繕費 | | |
| | 事務経費 | 5,715,000 | 事務経費 | 5,077,954 | 工事請負費 | | 工事請負費 | | |
| | 本社経費 | 0 | 本社経費 | 0 | 備品購入費 | | 備品購入費 | | |
| | その他 | 5,137,000 | その他 | 3,145,817 | その他 | | その他 | | |
| | 計 | 130,203,000 | 計 | 124,831,413 | 計 | 152,711,335 | 計 | 134,286,462 | |
| | 収入 | | 収入 | | | | | | |
| | 支出 | | 支出 | | | | | | |
| | 自主事業損益 | 0 | 自主事業損益 | 0 | | | | | |
| | 損益 | -2,604,000 | | 35,287,617 | | -132,238,085 | | -112,618,992 | |
| 人件費比率【人件費（賃金等）／平成27年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合） 80.3% | | | | | | | | | |
| 本社経費が、計画額と実績額で異なる理由 | | | | | | | | | |

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

| 区分 | 確認内容 | チェック欄 | 評価 |
|------------|--|-------------------------------------|----|
| 職員配置 | 1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 配置実績 (うち市内雇用職員数) 園長4(4)人、主任4(4)人、保育士22(22)人、調理員4(4)人 計34(34)人 | | |
| | 2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか | | |
| | 3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | | |
| 平等利用 | 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | | |
| 経理 | 2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか | | |
| 施設・備品の維持管理 | 2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか | | |
| セルフモニタリング等 | 2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |
| | 1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | | |
| | 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか | <input checked="" type="checkbox"/> | 3 |

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

No. 50

| 区分 | 確認内容 | チェック欄 | 評価 |
|----------------------------|--|-------|----|
| 危機管理体制 | 安全対策 | ☑ | 3 |
| | 1 危機管理マニュアルなどが整備されているか | | |
| | 2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか | | |
| | 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか | | |
| | 個人情報保護 | ☑ | |
| | 防犯、防災対策 | ☑ | |
| 1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか | | | |
| | 2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか | | |
| 緊急時対応、体制 | ☑ | | |
| 1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | | | |
| | 2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか | | |

7 地域連携

| 地域連携 | 評価 | | |
|---|----|--|----------------------|
| 地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。 | 4 | | |
| 協定内容・指定管理者提案 | | | 追加された内容、未実施の内容及びその理由 |
| ・地域の関係団体と連携し、子育て支援の実施 地域の行事への参加 | | | |

【総合評価】

| 評価項目 | 評価 | 得点 | 総合評価 | |
|-----------|----|----|-------------------|--|
| 指定管理者の健全性 | 3 | 6 | 合計得点 68 | |
| 施設の有効活用 | 4 | 8 | | |
| 利用者評価 | 4 | 16 | | |
| 事業収支 | 3 | 6 | | |
| 管理運営全般 | 3 | 12 | | |
| 危機管理体制 | 3 | 12 | | |
| 地域連携 | 4 | 8 | | |

評価理由

- ・ 保育所の設置目的を十分理解し、適切な保育の実施に努めた点が評価できる。
- ・ 園独自の広告を地域に配布したり、情報提供もできている。また、各園、園開放、一時預かりを積極的に行っており、新規入所の確保につながっている。
- ・ 中山間地域の保育所であり児童数が少ない中でも施設や周辺環境を有効活用した運営ができています。

取組み・改善案等
(施設所管課)

| 前年度からの課題 | 改善状況 | 改善案等 (改善されていない場合) |
|------------|--|-------------------|
| ・ 入所児童数の減少 | ・ 園作成のチラシを地域に配布することにより園をPRし、また、園開放の実施や一時預かりの受け入れを行うことにより園の保育内容等を保護者に知っていただき、入所に繋げるよう努めた。 | |

次年度の目標・取組み等
(施設所管課)

- ・ 国の定める保育所の運営基準を満たした上で、なお大幅な余剰金の発生が連続した場合には、指定管理料算定方法の見直しを行う。
- ・ 清野保育園の耐震診断、耐震設計、耐震補強を3年を通じて工事を施工していく。
- ・ 長野市公立保育所の適正規模及び民営化等基本計画に基づき、今後の施設の統廃合や複合化について整理していく。

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

《青池》

- ・園開放を計画的に行なう事ができ、世代間交流、異年齢児交流など地域活動事業を積極的に行なう事が出来た。
- ・一時預かりの受け入れを積極的に行ない子育て支援に努めることが出来た。
- ・世代間交流では子供達と地域の方々と一緒に行事を行なう事でお互いに楽しむことができ、繋がりを深めることが出来た。
- ・豊かな自然環境の中でのびのびとした保育を行なう事が出来た。

《西条》

- ・地域活動事業では年間18回の園開放を行い、世代間交流や異年齢交流を積極的に行った。
- ・職場復帰する保護者のニーズに応え、未満児の途中入園を積極的に受け入れた。
- ・保護者や、地域の方に向けて、子育てに関する講演会を開き、育児の不安解消に努めた。
- ・にじいろキッズらいふの定期巡回支援や、長野市の保健師の訪問を依頼し、気になる子どもへの支援の充実を図った。
- ・どのような行為が不適切な支援に該当するのかについて学習会を実施した。

《清野》

- ・園開放に関して情報誌に掲載したり、各行事への参加を呼びかけ、地域の未就園児と交流ができるように異年齢交流を進めた。また、地域の民生委員の協力のもと、地域の老人と園児の交流を持ち、世代間交流を行った。
- ・一時預かりを積極的に受け入れ、里帰り出産の受け入れも行った。
- ・防雪カーテンの一部取り替え（計画的に実施）によって、園舎が明るくなったと保護者から喜ばれた。
- ・豊かな自然環境の中、散歩を多く取り入れ、土手で遊んだり、のびのびと、楽しい保育を心がけた。
- ・保護者にアンケートをとり、意見要望をきくことができた。

《芋井》

- ・園児確保に向けて、園開放の年間予定や園の概要を月刊情報誌に掲載し、情報提供に努めた。又地域にチラシをお願いし掲示し、情報提供した。
- ・未就園児保護者に園開放や行事のチラシを配布したり、行事の時はご案内のおたよりを配布し参加しやすいよう努めた。
- ・一時預かりを積極的に受け入れ、保育園にスムーズに入園できるよう努めた。
- ・世代間交流事業では、地域のお茶のみサロンやサテライト（デイサービス）に参加し、地域のお年寄りと話したり、肩たたきをして交流した。
- ・地域の方の畑を借りて野菜を育てることで、食への関心や興味が一層強くなり、苦手な野菜にも挑戦して食べるようになる。
- ・気になるお子さんに対し、巡回相談をすることで、一人一人の理解が深まり、支援や配慮の統一が図れ、スムーズに学校に繋ぐことが出来た。
- ・保護者に行事等のアンケートを実施し、意見要望を聞き、保護者の思いを理解することが出来た。

② 業務の効率化に対する取組み

《青池》

- ・ストーブ等の電源をこまめに切り替えて節電に心掛けた。
- ・子供達に水の大切さをつたえ節水に努めた。
- ・夏野菜を子供達と育て、収穫したものを給食に利用して経費削減に努めた。
- ・記録等の時間を効率よくできるように工夫した。（平成28年度記録支援システム導入予定）

《西条》

- ・記録支援システム（平成26年度導入）の活用を充実させ、個別記録作成など保育士の負担軽減に努めた。
- ・日々の業務を職員間で分担し、短時間で終わるように努めた。

《清野》

- ・記録支援システムを導入し、日常業務の効率化を図った。
- ・行事の実施にあたりスケジュールをしっかりと立て、効率的に余裕を持った取り組みを心がけた。
- ・花や野菜の水くれは雨水タンクを利用し食育活動に活かした。また、節電、節水に努めた。
- ・物品購入の際、同じ商品でも安価な物を調べて購入し経費削減に努めた。
- ・テラスや玄関にグリーンカーテンを作り、少しでも涼しくなるようにした。

《芋井》

- ・花や野菜の水やりは雨水をためたタンクの水を利用し、食育活動に活かした。
- ・行事等の準備は職員間で連携をし、時間の短縮を図った。

③ その他

《青池》

- ・危険回避のため遊具の点検、散歩コースの点検などを行なった。

《清野》

- ・危機管理マニュアルをもとに職員研修を行い、園児の安全管理に努めた。
- ・園内外研修に参加し職員の資質向上に努めた。

《芋井》

- ・どのような行為が不適切な支援に該当するのかについて研修を行い、否定語を肯定語に直し、言葉がけの工夫に努めた。
- ・サービスの質の向上と職員の専門性を高めるため、研修に参加し、園内研修で報告し、意識の統一に努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

《青池》

- ・定員割れしている園の運営状況は厳しい。

《西条》

- ・中山間地に立地しており、将来的に園児数の減少が見込まれる。

《清野》

- ・園児の減少が予想される。

《芋井》

- ・定員割れが継続している。

(3) 次年度以降の取組み

《青池》

- ・外にむけてのPRを園と長野市が連携して行なう。
- ・毎日安心、安全な保育に取り組む。
- ・地域と密着できるような行事を行なう。
- ・学校との情報交換を行ない、保育園と学校の連携がスムーズにいくようにする。
- ・記録支援システムを導入（平成28年度予定）し、日常業務の効率化を図る。

《西条》

- ・よりよい保育の提供と、職員の資質向上のため、福祉サービス第三者評価を受審し、保育所の情報公開をする。
- ・園児数の減少に対応するため、未満児保育に特化した保育園づくりの可能性も検討していく。
- ・小学校との連携のため、アプローチカリキュラムの作成をする。
- ・耐震化工事の実施に伴い、園児の安全を確保する。

《清野》

- ・園児の減少が予想される。園開放を行ったり、途中入所、一時預かりの受け入れ態勢をとり、園児確保に繋げていく
- ・園内外の研修に積極的に参加し、職員の資質向上に繋げる。
- ・小学校との連携でアプローチプログラムの作成を行う。

《芋井》

- ・園児確保に努めるため、園児募集のチラシの作成、地域の自治協議会等連携を図る。
- ・月刊情報誌に園開放、園の概要を掲載しPRしていく。
- ・地域性を活かした保育内容を工夫し、学校、公民館等地域との連携を大事に、安心、安全に配慮し充実した保育運営に努める。
- ・記録支援システムを導入（平成28年度予定）し、日常業務の効率化を図る。
- ・気になるお子さんへの巡回相談を実施し、学校と連携していく。

【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る